

きらめくあなたへ

音楽ってステキ

令和6年度岐阜県立加納高等学校音楽科案内



加納高校音楽科では、将来、日本を代表するような演奏家やすぐれた音楽指導者の育成を目標として、国公立の芸術大学や教育学部への進学を掲げています。

そのために、2年生から実技系と教育系に分かれて、目標にあったカリキュラムで学習しています。実技系の生徒は、音楽の専門科目を一日に最低2時間は学習し実技力をつけています。教育系の生徒は、共通テスト対策に力をいれ、数学は少人数授業、英語・国語では習熟度別授業という行き届いた環境で学んでいます。

その結果、多くの生徒が芸術系・教育系の国公立大学や有名私立大学に進学します。卒業後は、演奏家として国内外で活躍しておられる方や、県内の音楽の教員や指導者として教鞭をとられている方など、多数の方が音楽文化の発展に貢献されています。今後も、個性を尊重した教育を続け、多くの音楽専門職の担い手を育てていきたいと考えております。

なお、本校のホームページにも、各種演奏会、体験入学などの情報を随時掲載していますので、ご覧ください。

音楽科の施設・設備



第1演奏室（特別公開レッスン）

第1演奏室(収容人数150名)
第2演奏室(収容人数 50名)
音楽教室・レッスン室(21) ホール(1)
フルコンサートピアノ(1)
グランドピアノ(35) チェンバロ(1)
ヴァイオリン(23) ヴィオラ(7) チェロ(6) コントラバス(4)
マリンバ(3) クラビノーバ(2) アルトフルート(1)
ピッコロ(1) ピッコロトランペット(1) フリュージェルホルン(1)

音楽科教員

《教諭》 飯島 理香(ピアノ) 上休場 由美子(ピアノ) 澤田 育子(声楽) 清水 亜衣(クラリネット)
出口 由美子(ピアノ)

《非常勤講師》

声楽 日下部 圭子 田島 聖子 日比野 景 松下 伸也
ピアノ 粟屋 晴香 石原 佳世 上野 栄美子 小笠原 歩里 河田 真由美
久米 隆司 高橋 玉緒 松本 華子 虫賀 太一
弦楽器 酒井 敬彰 花井 晶子 松井 美佳 和田 有里奈
管楽器 赤堀 裕之史 大西 宣人 梶井 健吾 光崎 雅代 照喜名 有希子
谷口 史洋 松岡 和美 渡辺 由香
マリンバ 加納 三栄子
作曲 柴田 恭男

年間行事

4月	入学式 対面式	10月	スポーツ大会
5月	校外研修 球技大会	11月	海外研修旅行 実技試験(3年生) 特別公開レッスン 後期中間考査(1・2年生) 学年末考査(3年生)
6月	前期中間考査	12月	卒業演奏会
7月	実技テスト 定期演奏会	1月	副科試験(1・2年生)
8月	公開レッスン	2月	実技試験(1・2年生) 学年末考査
9月	白梅祭 副科試験 前期末考査 公開セミナー	3月	卒業式

中学生向け

8月23日(金)

中学生夏の音楽科体験会(中学校1・2・3年生と保護者)

10月5日(土)

中学生秋の音楽科体験会(中学校2・3年生と保護者)

授業内容

専攻実技 (個人レッスン)

週1回50分のレッスンを受けます。先生と1対1で、テクニックや音楽表現など細かな指導を受けます。加納高校には実技指導の講師の先生が27名います。年2回実技テストがあり、後期は公開(保護者対象)となります。お互いのレッスンを見学する機会もあり、自分の演奏に役立ちます。

副専攻実技

主専攻がピアノの人は、1・2年生は弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)を勉強し、定期演奏会や卒業演奏会などの合奏のメンバーになることもできます。3年生は声楽のレッスンを受けます。作曲、声楽、管弦打楽器が主専攻の人は、3年間ピアノを勉強します。

演奏研究

《ピアノ》連弾やピアノデュオ、他の楽器とのアンサンブルや伴奏を学びます。
《声楽》二重唱、三重唱を、オペラや歌曲を通して学びます。せりふや振り付けについても勉強します。
《管弦打楽器》同属楽器との重奏や、他楽器とのアンサンブルを学習します。

合唱・合奏



授業は1~3年生合同で、合唱と合奏に分かれて週1回行います。定期演奏会、卒業演奏会、卒業式、入学式などで演奏します。合奏のメンバーは、管弦打楽器専攻の人と副科弦楽器の人、曲によりピアノやチェンバロなどの鍵盤楽器奏者も加わります。

音楽理論

「楽典」といって、音楽活動に必要な最低限の知識や楽譜に記すための約束・規則を説明する理論を中心に学びます。2年生では「和声」という、和音の性質や機能、作曲法を勉強する授業もあり、楽譜を読み取る力や分析する力を付けます。

ソルフェージュ

演奏に必要な、音楽の基礎的な力を付けるための勉強です。

《聴音》リズム、旋律、和声などの音楽の諸要素を正確に聴き取る力を付けます。

ピアノで演奏される単旋律、複旋律、和音を聴いて、楽譜に書き取ります。

《視唱》楽譜を正確に読み取り、正しい音程とリズムで歌う練習をします。さらには強弱や速度の変化、曲想も初見で表現することを目指しています。

音楽史

古代から近・現代までの音楽の特徴や歴史的背景をとらえ、作曲家の生涯や作曲にまつわるエピソードに触れたり、代表作品を鑑賞します。また、日本音楽史についても学習します。

普通教科

国語、英語、地歴・公民、数学、理科、保健体育、家庭科、情報などたくさんの科目を勉強します。感動を呼ぶ演奏には、幅広く勉強し「教養」を身に付けることも必要なのです。

教育系科目

2年生から、実技系と教育系に分かれます。教育系は国公立大学教育学部を目指し、共通テストに対応した科目も勉強します。

学校行事



《球技大会》

5月と10月に行われ、バレーボールをします。クラス一丸となって激しい戦いを繰り広げます。

《白梅祭》

加納高校の文化祭を「白梅祭」といいます。毎年音楽科の生徒は、3学年合同でミュージカルに取り組みます。これまでに「オペラ座の怪人」や「エリザベート」、「モーツァルト」、昨年は「レ ミゼラブル」を上演し、大変、好評を博しました。

入学生の声

ピアノ専攻 本多 由奈 (在ハンガリー日本国大使館附属ブダペスト日本人学校出身)

私には、「自分の特技で人の役に立ちたい」という夢があります。その夢を明確化させ、自信をもって演奏できるようになりたいという思いから音楽科への入学を決めました。

週一回の専攻実技では、先生にテクニックや音楽表現などのアドバイスをいただき、曲を作り上げていきます。その他にも副専攻や演奏研究、合唱・合奏の時間に他楽器に触れ、他の専攻の人たちとの交流を通して、音楽の世界を広げていくことができます。音楽理論やソルフェージュの授業は音楽知識の幅を大きくしてくれる大切な時間です。夢はそれぞれ違えど、音楽に対する想いはみんな同じ。そんな仲間たちと音楽に囲まれて過ごす生活はとても刺激的です。私のピアノが誰かの助けになる日を願って日々努力し続けます。

声楽専攻 服部 奏多 (岐阜聖徳学園大学附属中学校出身)

僕が進路を音楽科に決めたのは、中学3年の春でした。普通科に進学しても、音楽はできるのではと悩みましたが、3年間かけて学びたいことを考えたとき、自ずと進路が見えてきました。

そして音楽科に入学した今、僕の決断は正しかったと確信しています。音楽をこよなく愛する仲間と、高い志をもって歌ったり、演奏したりする日々はとても幸せです。恵まれた環境で、熱心に指導してくださる先生方のもと、夢に向かって、着実に歩んでいきたいと思います。

管楽器専攻 番場 くるみ (岐阜市立岐阜清流中学校出身)

私は自分の将来の夢への一歩を踏み出すために音楽科の入学を決めました。

私のクラスは17人という少ない人数ですが、みんな個性豊かで毎日がとても楽しいです。また、音楽が好きな子が集まったクラスなので、共通の話題で会話ができたり仲間や先輩方の演奏を聴けたりし、とてもよい刺激を受けることができています。専攻の楽器以外にも学ぶことがたくさんあります。例えば、演奏研究では、他の楽器の特徴を知ることができ、音楽理論では音楽の知識を身に付けることができ、仲間とともに切磋琢磨し、とても充実した日々を送っています。これからもこの仲間とともに、いろんなことに挑戦し、自分を成長させ、将来の夢を実現させたいです。

大学合格者状況

国公立大学		H15-R1	R2	R3	R4	R5	R6	私立大学		H15-R1	R2	R3	R4	R5	R6
実技系	東京藝術	9		3	1	3	4	国立音楽	22		2			2	
	愛知県立芸術	71	4	2	6	6	7	東京音楽	27	2		1	1		
	京都市立芸術						1	桐朋学園	10		1	1			
	沖縄県立芸術	4	2				1	武蔵野音楽	24		2				
教育系	東京学芸	1						洗足学園音楽	7					1	
	お茶の水女子		1					フェリス女学院	12		1				
	愛知教育	8						昭和音楽	9		1				
	静岡	1						金城学院	55	5	5	1	4	5	
	岐阜	15	2	1	1	1	1	名古屋音楽	166	8	10	14	8	11	
	三重	1						名古屋芸術	19	1	1	2	5	1	
	福井	1						岐阜聖徳学園	37		3	3	4	3	
	埼玉	1						同志社女子	12						
	奈良教育	3						大阪音楽	4	1				1	
滋賀	3						その他	118	9	12		8	10		
合計	118	9	6	8	10	14	合計	522	26	38	22	31	33		